

【岩手県宮古市】 【岩手労働局・ハローワーク宮古】

グループmini交流会でアイメッセージ！ 「4機関連携のグループワーク」を実施しました。



【課題・目的】

生活保護受給者や生活支援を必要とする者などに対し、自尊心回復や各自の問題解決を目的に、就職に成功した先輩求職者や受入実績のある事業所担当者を交えた交流会を、岩手県と宮古市など関係機関と共に実施。

【実施概要】

進行役のもと2回の少人数グループワークを実施。1回目は保護廃止となった求職者の経験談を軸に、参加者間相互の話し合いを実施。2回目は生活保護受給者等の受入れ実績のある事業所担当者を迎え、それぞれの視点で自発的に語ってもらい、就職に向けた自己・職業理解の促進のための交流を実施。

【役割分担】

〈岩手県宮古保健福祉環境センター福祉課〉
〈宮古市保健福祉部福祉課生活福祉係〉
〈宮古市社会福祉協議会
くらしネットみやこ相談室〉
・生活保護受給者等への周知・誘導
・該当参加者への求職活動交通費支給
・生活困窮者自立支援事業の支援説明

〈ハローワーク宮古〉
・リーフレット作成等周知・広報
・先輩求職者参加依頼、準備資料作成援助
・参加事業所選定、事前打合せ
・グループワーク進行
・参加事業所との個別面接設定

【効果】

◇ 11月20日、27日の2回実施。成功体験を身近に感じてもらい、共通する問題解決のヒントを得ていただいた。職歴がない方や就労ブランクが長期化している方と、人手不足の相談をうけた事業所をマッチング。就職促進を目標に効果的な支援を行うことができた。

〈宮古市コメント〉

国と地方公共団体、関係機関が連携して支援を行ったことにより、相談者が抱える課題に対して効果的に対応できたと考えます。

〈労働局コメント〉

就職へあと一歩踏み出せない方が多い中で、あと一押しをうまくできたケースであり、効果があった取組であったと考えています。

【神奈川県横浜市港北区】【神奈川県労働局港北ハローワーク】

生活保護受給者等の就職支援のため、共同事業として就職面接会を開催

【課題・目的】

港北区役所は生活保護受給者等の就職支援では、一体的実施施設（ジョブスポット）設立後、横浜市内でも進んでいる地域ではあるが、より生活保護受給者、生活困窮者、児童扶養手当受給者の就職促進を図るため、区役所生活支援課、こども家庭支援課と連携した面接会を行っている。

【実施概要】

生活保護受給者等の希望条件に合う求人を、実際支援にあたっている就職支援ナビゲーターが中心となり開拓、港北区役所会議室にて面接会を開催。また、助成金の説明会を面接会開始前に行い、神奈川県労働局職業対策課職員が、参加事業所や管轄4区の生活支援課等の担当者に対して周知を図った。区役所から生活困窮者制度の説明を行った。

【役割分担】

【横浜市港北区】

- ◆ 会場手配、運営
- ◆ 面接会当日の支援対象者同行

【ハローワーク】

- ◆ 求人開拓、求人受理
- ◆ 港北区以外の管轄内ジョブスポットに周知、参加勧奨
- ◆ 事前準備、当日の運営、採否確認、アンケート集計

【効果】

- ◆ 平成29年度の実績は、参加事業所数7社、参加求職者数27名（他のジョブスポットからも2名の送り込みがあった）。
- ◆ 面接件数35件、就職件数15件であった。



《就職面接会参加勧奨リーフレット》

＜横浜市港北区コメント＞

区役所内で面接会ができたことで、支援員も寄り添いながら、複数の事業所への面接が一度にでき、多くの者が就職に結びついた。

＜ハローワークコメント＞

支援対象者のニーズに合う求人を自ら開拓し、港北区役所以外の区役所とジョブスポットの協力を得て開催できた。今後も継続して実施していきたい。

【長野県長野市】【長野労働局長野ハローワーク】

生活保護受給者に対して福祉関係相談業務と就労支援を一体的に実施

【課題・目的】

生活保護受給者、児童扶養手当受給者、生活困窮者等の就労促進を図る。

【実施概要】

- ◆長野市福祉事務所に求人情報提供端末等を設置し、HWの就職支援ナビゲーターと市の就労支援員等と連携して以下の事業を一体的に実施している。
 - ・生活保護受給者等の個々の課題に応じた就労支援プランの策定
 - ・就労支援プランに沿った就労準備、職業相談、職業紹介、就労後のフォローアップまでの一貫した支援



◀ハローワーク長野と長野市の連携による
福祉・就労支援コーナー「ジョブ縁・ながの」▶

【役割分担】

【長野市】

- ・支援対象者の送り出し（支援候補者となり得る者の掘り起し等）
- ・就労後のアフターフォロー

【国】

- ・支援要請のあった支援対象者の担当制による就労支援
- ・就労後のアフターフォロー

＜長野市コメント＞

市のケースワーカー及び就労支援員を通じて、生活保護受給者等をハローワークへ紹介した結果、多くの方の就労に結びついており、一定の効果が上がっています。

＜労働局コメント＞

開設以来、生活保護受給者等の就労の確保に努め、早期自立を促進するため、これからも長野市とハローワークによる緊密な連携の下、取り組んでまいります。

【効果】

- ◆福祉・就労支援コーナーが福祉事務所に隣接しているため、コーナーへの誘導が容易に可能となり、利用者の利便性が向上し、効果的な就労支援につながっている。

【三重県松阪市】【三重労働局ハローワーク松阪】

就労に関する一体的な相談窓口「就労の広場」の拡充を実施

【課題・目的】

一体的実施施設「就労の広場」（求職者相談コーナー）の利用対象者を生活困窮者等から障害者・子育て世代・高齢者にも拡充し、市役所手続きのため来所した市民に対し、就労支援に係るワンストップサービスを一層推進する。

【実施概要】

◆市役所に来所した生活困窮者・障害者・子育て世代・高齢者に対する就労支援に関する総合相談及び職業相談・職業紹介・職場定着支援の実施

【役割分担】

【松阪市】

相談員による就労支援に関する総合相談の実施。

【ハローワーク松阪】

就職支援ナビゲーターによる職業相談、職業紹介及び職場定着支援の実施。



＜松阪市コメント＞

ワンストップサービスにより所属間の連携が強化され、就労に関し支援が必要な方々に対する生活面・就労面での幅広い支援が可能となった。

＜労働局コメント＞

これまでハローワーク（本所）まで足が向かなかった方が、気軽に「就労の広場」を利用し職業相談・職業紹介を受けることができるようになった。

【効果】（平成29年8月開設～平成30年3月末の利用状況）

◆松阪市：相談件数589件（障害者92件、子育て世代53件、高齢者71件を含む）、応募件数84件、就職者数28件

◆ハローワーク松阪：相談件数1,829件（生保933件、生活困窮者369件、母子・父子81件を含む）、応募件数374件、就職者78件

◆利用者からは「市役所で各種手続きをする機会が多いが、その待ち時間などを利用して職業相談や職業紹介を受けることができるようになり確実に利便性が向上した。」といった声が聴かれた。